

かとうかなこ

Kanako Kato

「アコーディオンは私にとって
かわいい子ども」。

クロマチック（ボタン式）アコーディオン奏者かとうかなこさんは、4歳からアコーディオンを始め、全日本アコーディオンコンクールでは3大会連続で優勝をした実力の持ち主。高校卒業後にはフランスへ留学し、パリ市立音楽院で学んだ後、CNIMA国際アコーディオン学院在学中に全仏コンクールでも第1位に輝いた。丸みを帯びた、かとうさんオリジナルのキュートなカラーの楽器からは想像がつかないけれど、実はアコーディオンの重さは約9kg。その重さを全く感じさせないほど軽やかに、ときには激しく楽器を奏でるかとうさんにとってアコーディオンとは？「趣味で弾いていた父親の影響もあって、私にとって毎日アコーディオンを弾くことは当たり前のことだったんです。特に“好きやから”と意識はしていませんでした。ただ、ずっと続けてこられたことを考えるとやっぱり好きやったんかな？」アコーディオンが盛んなフランスで過ごした留学生活については、「パリで2年、その後2年間は人口300人の小さな村にある学校で勉強しました。アコーディオンと自然だけ…。ほかに何も無い場所で本当に集中して学んだという感じ」と語る。5月19日（木）には、ショーロクラブのギター・笹子重治氏、バイオリニストの向島ゆり子さんをサ



ポートに迎え札幌時計台で道内初のホールコンサートを開催。「最近では、20代、30代の女性でアコーディオンを始める方が増えているんです。札幌では、クロマチックアコーディオンの生の演奏を聴く機会が少ないので、この機会に音に触れてもらって、パワーを持ち帰ってもらえたら嬉しいです」。

PROFILE

1979年1月6日、大阪生まれ。4歳よりアコーディオンを始め、17歳で全日本アコーディオンコンクール総合優勝。CNIMA国際アコーディオン学院在学中に全仏コンクールで第1位を獲得するなど輝かしい経歴を持つ。5月には札幌のほか、市立小樽文学館、帯広ランチョ・エルパソでもコンサートを開催。

●かとうかなこ アコーディオンコンサート
5月19日（木） 開19:00 道時計台ホール
料前売3,000円、当日3,500円
西キコキコ商店 ☎011・521・0098
発売中 チケット取扱/キコキコ商店、大丸プレイガイド、4プラプレイガイド